

韓国国史教科書研究所の金柄憲所長の慰安婦像撤去デモにおける記者会見

<https://youtu.be/ZnWorSfhGs0?t=859>

反日銅像撤去デモシリーズ (Part 12) 2020年5月15日 火曜日
韓国(旧)日本大使館前 国史教科書研究所の金柄憲所長
慰安婦像真実糾明緊急記者会見 (演説)

今回の李容洙氏の事態を詳しく見てみると

金銭的な問題もあるし、
色々残念で寂しい問題ではありますが、
これは、核心から外れているのです。

本質から外れているというのです。
その本質とは何か！？
本質は、与党であれ野党であれ、
慰安婦が日本軍による日帝被害者だという認識を
基本的に持っていることです。

ところが、これは明らかに
嘘です。

この慰安婦は日帝による被害者でもなく、
日本軍による被害者でもありません。

被害者と言えば加害者がいますが、
加害者が日本軍ですか？日帝ですか？
とんでもないことです。

被害者は、その当時、貧しい朝鮮と言う地で
生まれた女性が
親たちによって売られていったんです。

最初に慰安婦だという事実を告白した金学順氏は
40ウォンで売られていったんです。

誰によって？人身売買犯にです。

そして吉元玉(キル・ウォノク)平和賞の主人公の
吉元玉はいくらで
売られていったのか？
20ウォンで売られていったのです。

そして売られていったならば、買う人がいるでしょう？
誰ですか？人身売買犯です。

この人身売買犯が女性たちを買って
20ウォンで買って、40ウォンで買って、
そしてまた売るのです。

そして売ったら、また買う人がいて、
また売って、売って転売過程を経ながら、
この女性たちの体の値段が100ウォン200ウォン
2000ウォン、5000ウォンとてつもなく上がります。

そして重要なことは、この女性たちは
自分たちがいくらで売られたかを知らないのです。

そして連れていかれます。

誰によって？

最後にこの女性たちをもってして
売春業をする抱え主によって

身動きのできない身の上となるのです。

そしてこの女性たちは、抱え主によって
国内でも物、あちこち売春宿で国内での
営業が難しければ、異域万里の戦地に行きます。

日本軍は朝鮮の女性を引っ張って連れていく

理由もありません。

何故？お金になるならば、抱え主たちは
この女性たちを引っ張って何処にでも
連れていきます。

日本軍たちは、給料が安定的です。
抱え主たちの立場にとって最高の
顧客は日本軍です。

だから香港、シンガポール、インドネシア
あちこち行かないところはありません。

よって、慰安婦の女性たちに対する加害者は
日本軍や日本帝国主義ではなく、貧しい朝鮮の
親たち、人身売買犯たち、そして最後に抱え主です。

ところで、恨みたいのであれば、
貧しい朝鮮に生まれたことを恨まなければ
なりません。

この貧しい国で国民を守ることが
できなかったのです。
貧しい家に生まれたことを恨まなければなりません。

貧しい親が子供たちを守ることができずに
物のように売ってしまったんです。

そのような恥ずかしい
私たちの歴史を考えなくて

世界中あちこちに慰安婦像を立てて
何が偉いんですか！？

慰安婦が正義の化身ですか？
慰安婦が何か平和の使徒でしょうか？

国際的な恥さらしを
今、私たちはしているのです。
物事の分別力のない者たちが横で

お話にならないことを！
調べもしないで
慰安婦が何なのか？しっかり理解してから
話をしないとイケないのに！

これまでにします。